

農畜産業支援

# 「ハイエット」で高糖度メロン

厚沢部町(あつざべちょう)は函館市の北西部に位置し、駒ヶ岳を右に望み、車で一小時間もすると同時に達する途中駅である。

農家は今年の夏の十穀から免れられた。山間部に町があるため寒暖の差があり、その地形を生かしてメロン、かぼちゃ、種いものほか近年はアスパラガス、とうもろこしなどが盛

んに作られている。

青山隆さんは「ハイエット」という振動活性装置を導入している。この装置は日本冷凍輸送㈱の環境事業会社である日本創造エネルギー研究所代表・佐久間英和氏が開発したもので、

なっているが、これを効果的に活用して大いに稼

ぎまくっている。その実例を取材した。

## ルビアとR-113Uで稼ぐ

### 果実の肥大よく増収効果も

厚沢部の町に入つて中がなく、静寂そのもの。館という部落にたどりつ

くあたり道に迷い、探し

していると、手を振って内され、そこで話を聞

いる人がいる。メロンをく

正在作している青山さんです。

かと尋ねるとさうだとい

う。近所にはほとんど家

の夫婦が静岡から夏

の間手伝いにきており、

息子夫妻

その子供1人

あつて、

畠を分農業に

打ち込んでいる青山さん

だ。メロン栽培を始めた

のはかなり早く、ブリ

ンスの頃から。早い作型は

農家はそれぞれ事情

があり、近年は苗を購入

が定年退職して、なんの

手立てはない。ただ、

自分で育てて、

自分で育てて、